

北海道も密苗拡大中！こんなときはどうする？

Q & A でわかる！密苗栽培



播種編

Q1 播種量(雑芽初)375gで播種していたら、種量が足りなくなりました…

A1 播種量は籾の吸水量によって重量が変わります。事前に1袋当たりの重量増加率を確認し、増えた割合を播種量に反映させ、適切な播種量に調整してください。

籾状態	乾燥	25%UP	375g
乾燥	1袋あたり 5,000g	1袋あたり 10,000g	1袋あたり 12,500g
播種量/箱(乾籾)	300g	375g	375g

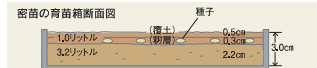
※籾に吸水率:20%(5,000g/袋⇒6,000g/袋)の場合、播種量を乾籾300g/枚で設定するならば、1箱当たりの播種量は「360g(雑芽初)」となります。300g/枚(乾籾)×1.2=360g/枚(雑芽初)

◆試し播きで播種量を確認しましょう。
(1箱当たり、乾籾300g(雑芽初375g))



◆床土を調整しましょう

密苗は種粉層が厚くなります。覆土上面に種粉が露出する場合は、床土を少し減らしてください。



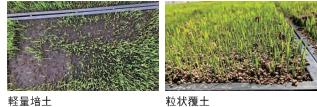
ここに注意!

密苗の場合は、苗1枚で広い面積に移植するため、確実に種子消毒を行い病気を防ぎましょう。

Q2 ポット育苗で使用していた培土を使っても良いの？

A2 床土には使用可能です。覆土には透水性の高い「粒状覆土」を使用してください。

粒状覆土は出芽の際に目視しやすく、土落としも容易です。覆土に軽量培土や粉状培土を使用した場合、水分を含んで団子状となり上手く土落としできない可能性があります。



Q3 播種と同時に、灌水しないといけないの？

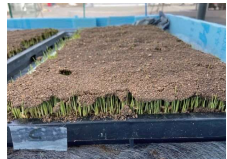
A3 一晩置く場合は播種時の同時灌水をおすすめします。播種後すぐにハウスに並べる場合は播種時の灌水は特に必要ありません。いずれの場合も、ハウスに並べた後は約3ℓ/箱(育苗箱の底から滴る程度)を目安に、時間をかけてたっぷり灌水することがポイントです。

育苗編

Q4 出芽後、どのように土落としすればいいですか？

A4 育苗箱の縁より20~30mmの発芽を確認した後、灌水での土落としを行います。

土落とし直後3~4日間(葉を伸ばす期間)は、毎朝約3ℓ/箱を目安にたっぷりな灌水が必要です。目安として、夕方まで床土が湿っている状態が望ましいです。また、夕方以降の灌水は低温による生育停滞の可能性があるので、なるべく控えます。



Q5 ローラーで土落とししてもいいの？

A5 ローラーでの土落としは可能ですが、取り扱いに注意が必要です。

出芽直後に負荷をかけると、苗丈が極端に短くなる可能性があります。灌水での土落としが完了してから、3~4日おきに約1~2回ローラーをかけることが望ましいでしょう。



Q6 播種後低温が続いて、シルバーを剥がしたら覆土表面に白いカビが発生していた…

A6 ハウス換気を行い、苗立枯病に対する適用薬剤を使用しましょう。

病原菌の多くは土壌中に存在しており、高温・多湿となった場合に発病しやすくなります。

薬剤名	適用病害名
タチカゲン液剤	アザキノムシコノカビ病
タチカゲン2M液剤	アザキノムシコノカビ病
タニコエ1000水和剤	アザキノムシコノカビ病
タニコート水和剤	アザキノムシコノカビ病



Q7 育苗中、苗箱中央が伸び、かまぼこ状になってしまった!

A7 1箱当たり3ℓ程度を目安に十分な灌水をしてください。ポットと同様の灌水量では、水不足で育苗箱の縁の苗が育たずかまぼこ苗になってしまう可能性があります。



Q8 育苗時にハウス側面や道路際の苗の伸びが悪くなってしまう。

A8 遮光用のブルーネット等を被覆して、生育揃えを促すことができます。

日照および風による乾燥が原因で水分不足になり、生育ムラが発生する可能性があります。被覆期間は1葉展開後1週間程度。



Q9 育苗中の追肥は必要?

A9 1.0~1.5葉期の1gN/箱の窒素追肥は初期生育に効果的!

2葉展開の苗を移植する密苗は、1.0~1.5葉期での追肥で肥料が徐々に溶け出し、持続的に苗が肥料を吸収するため、草丈伸長が促進されます。また、移植後の活着や分けつを促進する効果があります。播種と同時に施肥する場合、育苗中の追肥は必要ありません。但し、育苗日数の延長等により、苗の徒長や老化(窒素含有率低下)が発生するので注意が必要です。



ここに注意!

密苗の理想的な苗姿は2葉展開の苗ですが、苗丈が12cm程度確保できている場合は、2葉を待たずとも早めに移植して良いでしょう。苗丈が短い(12cm未満)場合、移植前2~3日を自営にハウス内の夜温を高め、苗丈を伸ばしましょう。



移植編

Q10 移植後入水したら苗が浮いて流れてしまった…

A10 苗が活着するまで入水を控えるか、優しく入水するようにしましょう。

移植後の急な入水で苗が抜けてしまうことがあります。移植本数が1株あたり4~5本程度になっているか確認しましょう。

Q11 除草剤はどのタイミングで施用すればいいですか？(移植同時除草剤散布しない場合)

A11 散布時期は慣行と同様です。移植後、苗の活着を確認した上で、除草剤散布を行ってください。施用期間は活着後7日間程度が目安です。



Q12 密苗仕様田植機で中苗を移植できますか？

A12 播種量および田植機設定を変更すれば移植可能です。密苗よりも使用箱枚数、培土量が増えるのでご注意ください。

★密苗田植機で中苗を移植する場合

播種量	(乾籾) 150~180g
	(雑芽初) 187~225g
育苗期間	30日
使用箱数	20枚/反後
移植時期	3日以上
根取量	8~12mm (6取り本数は確認済) ※YR心は標準値より10mmと多くなります
移植回数	26回

※本マニュアルについては技術改善により予告なしに変更する場合があります。

◆上手な移植方法

■代かきは丁寧に行いましょう。



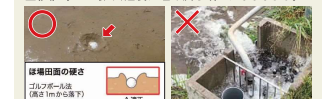
代かきが荒いと田面がデコボコに、稲株残さの埋没不良などで転び苗の原因になります。

■田植え時の水深は、落水〜ひたひた水にしましょう。



ひたひた水でちょうど良い。苗の移植姿勢が安定。深水での田植えは、浮き苗になりやすく、秧など深いところは低温で植えやす。

■移植時の土壌は、過度に硬くなるのを避けましょう。



硬い土壌での田植えは、土が埋め戻り、苗の姿勢が安定します。急な入水は、浮き苗の原因となります。

ヤンマーアグリジャパン株式会社 北海道支社

〒067-0051 江別市工業団地10番地6
TEL:011-381-2300 FAX:011-381-2330
http://www.yanmar.co.jp/hokuto/

ヤンマーアグリジャパン株式会社 北海道支社

〒067-0051 江別市工業団地10番地6
TEL:011-381-2300 FAX:011-381-2330
http://www.yanmar.co.jp/hokuto/